



日本国際薬膳師会

<http://yakuzenshi.jp/>

日本国際薬膳師会への期待…………… 1	総会特別講演「食、環境、健康 それはヒポクラテスから始まった」…………… 5
脾胃腸の機能を整える薬膳最終回…………… 2	一人で歩く中国医書の世界3…………… 6
「動脈硬化症」の中医弁証論治③…………… 3	会員の声…………… 7
日本国際薬膳師会通常総会報告/会報誌「くこ」50号に思う…………… 4	各部報告/交流部報告/編集後記…………… 8

令和元年 日本国際薬膳師会への期待



日本国際薬膳師会副会長・事務局長
海老原 永磯子

平成最後の年に国際薬膳師会では設立15周年記念行事を盛大に開催いたしました。

その折制作しホームページに掲載されている「日本国際薬膳師会のあゆみ」のスライドショーを見ると、2004年発足以来、辰巳洋会長を中心に会員のみな様のご支援により学術部のスキルアップ研修会、事業部の設立記念特別講演会、広報部の会報「くこ」の発行、交流部の中国薬膳研究会との交流や親睦会、IT部や認定部による新情報や薬膳レシピの提供、総務部の会運営など様々なかたちで事業活動を展開し発展させてきた役員の方々の姿が、走馬灯のように思い浮かびます。これもひとえに役員の方々のたゆみない努力と強いボランティア精神に支えられてきたことに深く感謝いたします。

5月1日、新年号「令和」が施行されました。「令和」という意味は「明日への希望と共に日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」という意味があります。平成時代に年々積み重ねられてきた本会の大きな財産を令和元年の新しい土台の上に受け継ぎ、薬膳の専門家団体として新たな発展を遂げ、より大きな花を咲かせ実を結ぶことを期待しています。

令和元年度通常総会が5月25日（土）、品川区立総合区民会館「きゅりあん」で開催され、今年度の各部の事業計画と新役員が承認されました。ご存知のようにもろすでに各部による事業活動が開始されています。

現在の会員数は460名を超え沖縄から北海道まで全国に及びます。本会の会運営については各地にいる会員の

方々に会の活動方針を周知し理解していただき、会員であることのメリットを実感して積極的な支援や要望が得られる関係を構築することが重要な課題になっています。

8月に発送される会報「くこ」および配布物を手に取ってご覧いただいていると思います。定期的に他の郵便物と区別できるようにオレンジ色のカラー封筒で発送しています。

「くこ」の感想や各部の行事についてご意見やご要望を是非メールやファックス、ホームページ等でお寄せ下さい。会員とのふれあい交流が本会の活性化に繋がっていきま

す。ホームページもご覧いただいていると思います。本会のホームページの役割は会員の方々へ多種多様な情報発信源になること、国際薬膳師として中医薬膳学の知識や技術のスキルアップに役立つ教育的な場となり、研究発表のチャンスを提供すること、会員同志の交流の輪を広げていくなど有効的な手段となると考えています。

11月23日（土・祝）開催される設立記念特別講演会では辰巳洋会長が「中医学から見る認知症予防と薬膳」のテーマで講演を行います。遠方からの参加をお願いします。

孔子のことばに「学而不思即罔、思而不学則殆」、意味は「学んでも考えなければはつきりと理解した状態にはならない。また考えるだけで学ぶことが無ければ独断に陥り危険である」ということです。

今年度も役員一同、各事業活動を真摯に取り組んで参ります。会員のみな様のご指導ご鞭撻の程お願いいたします。

「設立記念特別講演会」

11月23日 午後2時

テーマ「中医学から見る認知症予防と薬膳」

講演者 日本国際薬膳師会会長 辰巳 洋氏

会場 東京 エンサム神田グランドホテル

各部報告・お知らせ

▲総務部:

令和元年度 第 15 回日本国際薬膳師会通常総会が無事終了しました。7 月 1 日現在、会員数は 464 名です。
 *会費は前年度の 3 月 31 日までの納付です。未納の方は、年会費 3,000 円を速やかにお振込ください。
 振込先: 三菱 UFJ 銀行 神田駅前支店 (普)口座 No. 2189884 名義 日本国際薬膳師会
 ゆうちょ銀行 口座 No. 00140-6-595914 加入者名 日本国際薬膳師会

▲学術部:

ステップアップ研修Ⅷ 「症例研究」

①6 月 14 日(金) 「便秘」「痔」の中医薬治療と「症例研究」

②7 月 12 日(金) 「夏疾患」の中医薬治療と「症例研究」

終了しました。講師の菅沼栄先生の熱い講義に、受講者は熱心にメモを取っていました。

③10 月 11 日(金) 内容未定。HP のお知らせを見てください。単発受講可能です。

▲広報部:

会報「くこ」50 号発行、51 号(12 月 1 日)発行予定

▲事業部:

○日本国際薬膳師会設立記念講演会

演題:「中医学から見る認知症予防と薬膳」

講師:辰巳 洋 先生(日本国際薬膳師会会長、本草薬膳学院学院長 医学博士)

日時:令和元年 11 月 23 日(土・祝) 14:00~ 開場 13:30

場所:エッサム神田グリーンホール

会費:2,000 円

申込:チラシ又はホームページから

○日本国際薬膳師会設立 15 周年記念誌、レシピ集等の販売。

申込用紙に必要事項記入し、各申し込み先へ FAX。入金確認後発送。

①設立 15 周年記念誌(1,500 円)、レシピ集(2,000 円) ②体質診断・食材早見表(1 部 300 円)

③薬膳の基礎早見表(1 組 800 円) ④8 つの体質と食薬早見表(1 組 600 円)

◆問い合わせ及び申し込み先:①は FAX 045-622-0584 ②③④は FAX 045-844-9530

◆入金先:ゆうちょ銀行以外 (店番 018) 普通 9888805 日本国際薬膳師会

ゆうちょ銀行から 10110-98888 51 日本国際薬膳師会

▲交流部:

5 月 20 日(土) 都立薬用植物園見学会 参加 17 名

講習会「胃腸虚弱は万病のもと～胃腸をよくすると元気になる～」

▲認定部:

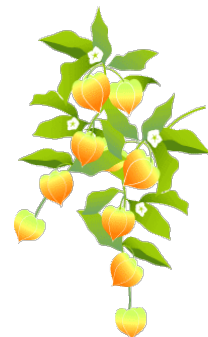
日経新聞 何でもランキング「薬膳料理で寒さに打ち勝つ」のレシピが沢山用意されました。冬病夏治の観点から、このレシピを 8 月より HP に掲載致します。お役立てください。

▲IT 部:

○身近な食薬をテーマに新しいコーナーを検討中です。皆様からのご提案お待ちしております。

○「今月の薬膳」は「アンチエイジングの養生」を掲載しています。毎月ご紹介していきますので、お役に立てて頂ければ幸いです。

○「私の街のおすすめ食材」では、特産物や旬の食材を紹介しています。皆様からの情報をお待ちしています。IT 部 E-mail chubu@yakuzenshi.jp



交流部報告 三光院「竹乃御所流精進料理」食事会 平成 30 年 3 月 31 日

東京の西郊、小金井市にある臨濟宗泰元山三光院にて竹乃御所流精進料理の食事会を実施しました。一品一品運ばれてくる料理は、食事開始から終わりまで約 2 時間とまるでフルコースのようでした。お料理ごとに料理説明がされ、一つ一つの素材が大切に、心を込めて調理されていることが感じられ、丹精込めて素材の素晴らしさを余すことなく表現されたお料理を美味しく頂きました。とても良い経験でまた伺いたいと思うほど、感謝と満足感が心に残りました。季節ごとにお料理が変わり、3,900 円～のコース、予約制です。三光院は、京都嵯峨野にある尼門跡寺院曇華院で、代々門跡になられた天皇家の皇女様が日々召し上がる尼寺料理として室町時代から受け継がれています。(三光院 TEL:042-381-1116 /Fax:042-381-1235) (記:寺島千穂美)



編集後記 新年号令和がスタートしましたこの時、「くこ」は 50 号の発行を迎えました。編集作業にこれまでの間、広報部をはじめ多くの会員の手を経てきた長い道りに感慨を覚えます。今後の発行に向け、さらなる会員のご協力をお願いいたします。編集作業の今は、梅雨真っ盛り。「くこ」がお手元に届く頃は二十四節気では立秋過ぎ。養生ください。N.S.